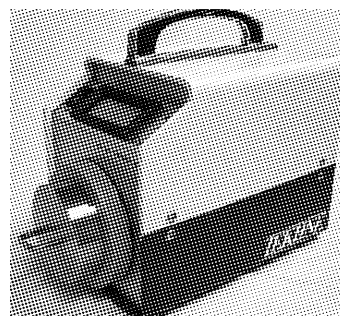


ポータブル露点計発売

テクノ
洋行 圧縮空気・ガス管理向け

【川崎】テクノ洋行（川崎市高津区、永谷寿邦社長、044・379・3697）は、小型のポータブル露点計「TK-1100 NK-I型II」を計測するもので、水分が結露する温度である露点を約100～20度Cの範囲で、2℃2度Cの



テムを採用、低水分での応答速度を高めた。

本体に配管を接続し電源を入れると初期出力で最大値の電流が流れ、ノイズなどを除去、安定した立ち上がりを確保する。約5秒で判定値に切り替わり、乾燥チャンバーを引き出すと圧縮空気やガスなど測定対象物が流れ、露点に一気に合わせる仕組み。

精度で測定する。価格は78万円。圧縮空気の工場内管理、都市ガス、電力会社などを対象に、今後1年間で100台の販売を見込む。

新製品は乾燥チャンバー、露点センサー、計測基板、単3型充電電池などで構成。乾燥チャンバーには乾燥剤を挿入し、非測定時に露点センサー検知部を乾燥剤中に保持するドライチャンバーシステムを採用。

工場では空気圧システムが全消費電力の20～30%を占めるとされ、計測・管理で省エネルギー化できる。都市ガス配管内での漏れ管理、電力会社の遮断器の絶縁用ガスの管理にも役立つ。